

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

八幡屋小	学校	児童数	27
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.28	20.63	27.89	30.47	41.84	9.31	127.84	26.53	48.59
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.88	17.75	33.75	30.25	31.63	9.70	111.50	13.63	47.38
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男女ともに、ソフトボール投げ、50m走については、大阪市・全国の平均を上回っている。また、男子は、上体起こしも大阪市・全国の平均を上回っている。さらに、課題があった種目の握力についても、本年度は前回の調査より向上し、大阪市・全国の平均を上回った。

一方、反復横とび、立ち幅とびについては、男女ともに、大阪市・全国の平均を下回った。長座体前屈についても、差は縮まらず大阪市平均を下回っており、本校の課題である。そのため、体力合計点では男女とも大阪市平均には届かなかった。

児童の質問項目の「運動やスポーツをすることは好きですか」については、「好き」と最も肯定的に答えた児童が男子は大阪市・全国平均よりも多かった。女子も「好き」「やや好き」と肯定的な回答が大阪市・全国平均を上回った。「1週間の総運動時間」については、本校は体を動かすことが好きな児童が多く、総運動時間が60分未満の児童の割合は男女ともに0%であった。男女とも大阪市・全国平均を上回り、男子においては、総運動時間が420分以上の割合が、全国平均より23.6%も多く運動している結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の授業やキッズタイム（たてわり遊び）で様々な運動や遊びを経験する機会を設定するとともに、「なわとびタイム」「かけ足タイム」などの強化月間・週間により、楽しく体を動かす習慣をつけ、体力・運動能力を高めることができるよう取り組んできた。そのため、全国・大阪市との差は縮まってきており、平均を上回る結果も出ている。しかし「反復横とび」や「立ち幅とび」の平均点が本年度も全国・大阪市平均より下回り、記録は良くなかった。素早さやタイミングの分野での運動能力の向上が課題である。「50m走」、「ソフトボール投げ」、「握力」については差が縮まり、記録は全国・大阪市平均より高い。

令和3年度から2回新体力テストを実施して、個人の記録を活用し、目標を持たせることで、児童の体力向上への意欲を高めながら体を動かす楽しさを体験することができるようにしてきた。また、コロナ禍で小中合同駅伝大会、部活動体験等の体験授業やトップアスリート招へい事業等の体育的行事も縮小されていたが、再開している。今後も、全国・大阪市平均より「体力合計点」が上回るように、体育の授業時間に限らず、小体連による放課後のスポーツ活動との連携や、子どもの体力向上支援事業（シナプソロジー）など、多様な取組の工夫を継続して行い、運動能力、体力の向上を目指していく。